



2026年5月28日

各 位

会社名	中央発條株式会社
コード番号	5992 東証スタンダード・名証プレミア
代表者	代表取締役社長 北浦 啓一
問合せ先	総合企画部長 川瀬 康裕
T E L	0 5 2 - 6 2 4 - 8 5 5 0

「中計アップデート 2025年度/1年目の振返り」 の策定に関するお知らせ

中央発條株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：北浦 啓一）は、このたび、2025年7月30日付で公表した「中長期経営計画2030」に対し、「中計アップデート 2025年度/1年目の振返り」を策定し決議しましたので、お知らせします。

詳細につきましては、添付の資料をご参照ください。

以上

2025年～2030年

中計アップデート

2025年度 / 1年目の振り返り

弊社 藤岡工場新工場（第12工場）イメージパース
2027年5月竣工（2028年5月稼働）予定

2026年5月28日

agenda

01

エグゼクティブ
サマリー

02

2025年度実績

03

主要KPIの状況

04

2025年度
中計ハイライト

05

成長戦略
事業セグメント別計画

06

財務戦略

07

人的投資
サステナビリティ

08

最後に

01 エグゼクティブサマリー

2025年度
実績

- ✓ 「中期経営計画2030」で策定した“安全最優先の取組み”を着実に実行した1年 ～会社のために、従業員のために～
- ✓ 安全・基盤強化の重点投資により固定費が増加し収益を下押し

2027年度
中間目標達成への進捗

- ✓ 成長戦略は着実に成果を伴いながら、進捗中
- ✓ 安全・基盤投資の効果を、既存事業の生産性向上と競争力の一層の強化につなげていく

2030年度
最終目標に向けたあゆみ

- ✓ さらなる原価低減と成長戦略の進展により **稼ぐ力** を創出
- ✓ **世界一 “クリーン” なばねメーカー** へ

2025年度の実績

(2026年3月期通期決算)

02 2025年度の実績

概要

- ✓ 2025年度は、**計画的な意志ある固定費増**により営業利益減益となるも、概ね計画通りに推移
- ✓ 当期純利益は、**金融資産の売却**（売却資金は主に安全・基盤投資に充当）により大幅増益

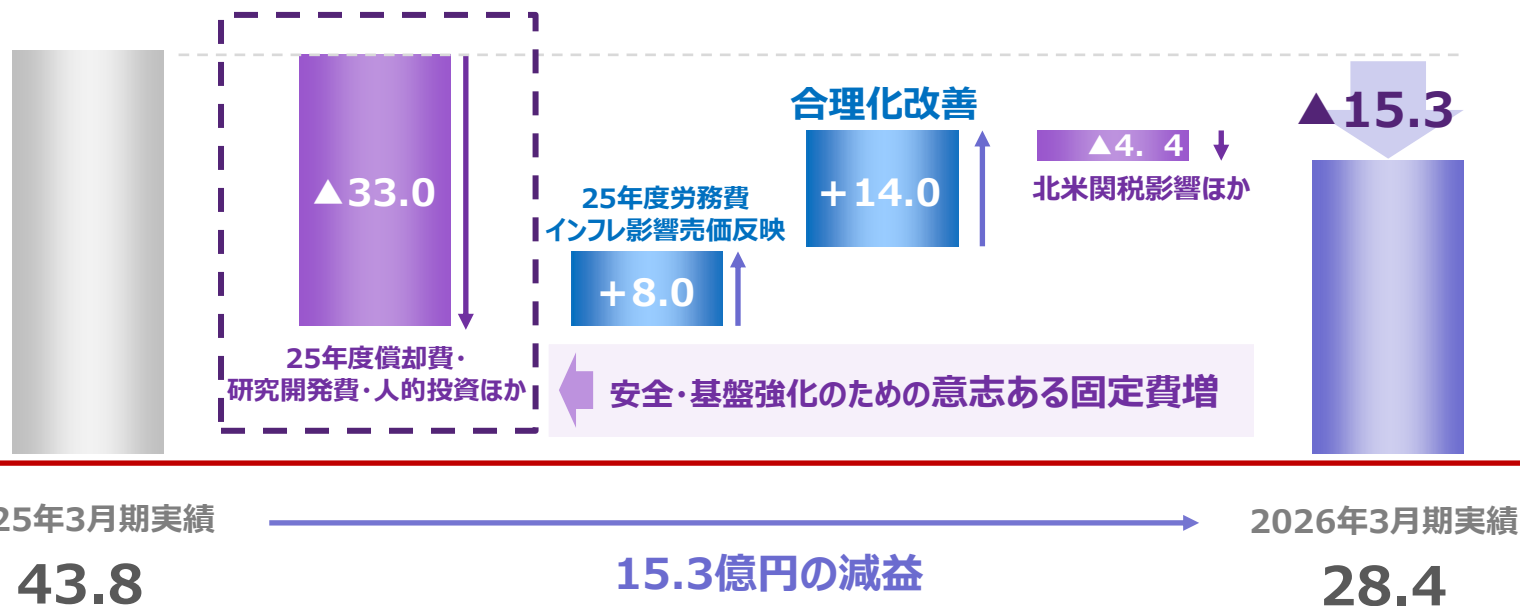
連結決算	2026年3月期 通期実績	2025年3月期 通期実績	前期比	2027年3月期 通期予想
売上高 同比率	1,108億円 100%	1,101億円 100%	+7億円	1,100億円 100%
営業利益 同比率	28.4億円 2.6%	43.8億円 4.0%	▲15.3億円	33.0億円 3.0%
経常利益 同比率	44.9億円 4.1%	51.4億円 4.7%	▲6.5億円	37.5億円 3.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益 同比率	124.2億円 11.2%	18.5億円 1.7%	+105.6億円	24.0億円 2.2%
為替レート (円/ドル)	151.09円	152.57円	1.48円 円高	155.00円 ※期末想定為替レート

02 2025年度の実績

連結営業利益の主な増減要因（対2024年度）

概要

- ✓ 計画的な安全・基盤強化のための意志ある固定費増（+33億円）により営業利益は減益
- ✓ 重点投資の効果を生産性改善と競争力強化につなげ、早期に既存事業の収益力向上につなげていく



中長期経営計画2030 主要KPIの状況

03 主要KPIの状況

中計主要KPIの実績と目標について

概要 ✓初年度である2025年度は営業利益は前年比減益となったものの、ROE、PBRは目標水準に到達
✓中間年/最終年に向けて、本業利益である営業利益をしっかり底上げし、主要KPIの達成を目指す

	2023年度実績	2024年度実績	1年目（初年度） 2025年度実績	3年目（中間年） 2027年度目標	6年目（最終年） 2030年度目標
売上高	1,009億円	1,101億円	1,108億円 ..	1,200億円	1,300億円
営業利益	10億円	43.8億円	28.4億円 ..	48億円	91億円
営業利益率	1.0%	4.0%	2.6% ..	4.0%	7.0%
ROE	2.6%	2.3%	15.1% ..	5.0%以上	8.0%以上
PBR	0.5~0.6倍		1.00倍 ..	1.0倍以上維持向上	

03 主要KPIの状況

営業利益計画イメージ ～稼ぐ力の創出～

前半期 安全・経営基盤を強化、将来のための足場固め
既存事業の収益向上、成長戦略の種まきを実施

後半期 既存事業の収益基盤を確立 成長戦略の推進
→ **稼ぐ力の創出**

営業利益率
営業利益

7.0%

91
億円

稼ぐ力の創出

成長戦略の確実な進展

生産性向上と競争力強化 既存事業のベース収益向上

世界一クリーンなばねメーカーへ

4.0%

48
億円

意志ある固定費増

2.6%

28
億円

安全・経営基盤強化

安全投資/人的投資/職場改善投資 集中投下

4.0%

44

前半期

2024

2025

2026

中間年

2027

後半期

2028

2029

最終年

2030

中長期経営計画2030

2025年度中計ハイライト

04 2025年度中計ハイライト

安全最優先の取組み



初年度は計画通り前倒しで実施

安全 安全・経営基盤強化投資計画の進捗

総額
200億円

		2025	2026	2027	2028	2029	2030	
安全対策	爆発対策	集塵機安全対策		5億円				7 億円
	安全装置	ガス漏れ検知器		2億円	済			
	検知システム							
老朽更新	老朽更新	RC巻機更新	21億円					81 億円
		リールスタンド	1億円	済				
	高負荷改善	各工場 ベンダ機、成形機、ロボット等 老朽設備更新		21億円				
職場環境	照度改善	工場照明LED化		2億円	済			7 億円
	建屋修復	工場屋根・床等修繕						
	発生源対策	粉塵、油煙の発生源対策、5Sの推進、安全専念時間の確保		5億円				
足場固め 将来投資	モデルライン新設	藤岡12棟新設+冷間コイル新ライン		進行中				105 億円
	新工場建設	工場、拠点リロケーション						

- ➡ 25年度実績 3億円
- ➡ 25年度実績 20億円
- ➡ 25年度実績 3億円
- ➡ 藤岡12棟 40億円

- ✓ 初年度は計画通り実施済み（ガス漏れ検知器、リールスタンド、工場LED化は完了）
- ✓ 全工場の老朽化設備を更新するための新工場建設用地は、現在選定中

04 2025年度中計ハイライト

安全最優先の取組み



安全安心な職場環境の整備に向けて着実に進捗

安全 余力工場の新設 ～藤岡第12工場～

2025/11 リース



藤岡工場新工場（第12工場）イメージパース

- ✓ 藤岡工場の冷間コイルラインの余力工場を新設
- ✓ 約40億円を投資し、2026年8月着工、2028年5月稼働予定

安全 集塵機の自動監視システム導入開始

2026/3 リース



- ✓ 安全対策として、集塵機設備メーカーと連携し、DXを活用した集塵機自動監視システムの導入を開始
- ✓ 粉塵災害を未然に防ぎ、安全安心な職場環境を実現

04 2025年度中計ハイライト

成長戦略①



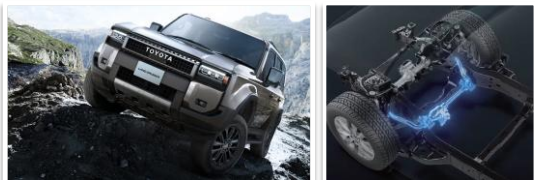
将来の収益貢献を見据え、着実に進捗中

戦略 高付加価値OnlyOne

ODDS

新型スタビライザ

当社独自の技術力により開発したOnlyOne製品



- ✓ 現在、国内外のOEMより引き合いがあり、量産化に向けて共同開発中
- ✓ 後半期での収益貢献大

収益貢献

シャシ

2027

2030

戦略 グローバルデファクト

PBD

パワーバックドア用精密ばね

SUVのバックドアの自動開閉装置に搭載されているばね



- ✓ 拡大するSUV市場でニーズは旺盛
- 2025/7 リリース
- ✓ 欧州Tier1メーカーと新規取引開始

収益貢献

精密

2027

2030

戦略 電動化

電動化対応製品

充電ケーブルリール

「充電をもっと快適に」、充電ケーブルを簡単便利に収納可能な充電ケーブル収束補助装置



- ✓ 駐車場でのEV対応ニーズの取込み
- 2025/9 リリース
- ✓ スズキEV車のカタログに採用

収益貢献

非自動車

2027

2030

04 2025年度中計ハイライト

成長戦略②



将来の収益貢献を見据え、着実に進捗中

戦略 北米

拡販・新規開拓

欧米OEMとの取引推進

当社グループの米国拠点であるCNAにおける
拡販活動を積極的に展開



- ✓ 堅調に拡大する米国市場をターゲット
- ✓ 積極的に米国大手OEMに対し、
新規拡販活動を開始

収益貢献 シャシ 2027 → 2030

戦略 グローバルサウス

インドプロジェクト

市場拡大を見据えた進出

拡大するインドマーケットの需要を積極的に取り込む
ため、現地ローカル企業との協業、共同出資



- ✓ 市場拡大が続くインドへ進出
- ✓ インドローカル企業との技術支援
契約締結 ケーブル事業を強化

2026/1 リリース

収益貢献 ケーブル 2027 → 2030

戦略 非自動車

非自動車

製品ラインナップ拡充

当社のコア技術を活かし、製品開発を強化
「暮らしを支える」製品分野での業績拡大へ



【逸脱防止ガード】(イメージ写真)

- ✓ 製品ラインナップを拡充し、収益強化
- ✓ 新幹線向け部材、JR西日本との
新規取引開始

2026/5 リリース

収益貢献 非自動車 2027 → 2030

成長戦略 事業セグメント別計画

05 成長戦略 事業セグメント別計画

事業セグメント別の収益計画

概要

- ✓ 2025年度シャシばね事業は固定費が増加し、営業利益が前年比▲18億円の▲4億円の赤字
- ✓ 一方、ケーブル事業は選択と集中を実施し、営業利益は前年比+5億円改善した

事業セグメント	実績	実績	中間年		最終年
	2024年度	2025年度	2027年度 計画		2030年度 計画
シャシばね	528億円	538億円	600億円		700億円
	14億円/2.6%	▲4億円/▲0.7%	11億円/1.8%		46億円/6.5%
精密ばね	260億円	255億円	290億円		300億円
	26億円/10.0%	23億円/9.2%	25億円/8.6%		30億円/10.0%
ケーブル	152億円	151億円	140億円		120億円
	▲7億円/▲4.5%	▲2億円/▲1.3%	0億円/0.0%		1億円/1.0%
非自動車	161億円	164億円	170億円		180億円
	11億円/6.8%	11億円/6.6%	12億円/7.0%		14億円/7.8%
合計	1,101億円	1,109億円	1,200億円		1,300億円
	44億円/4.0%	28億円/2.6%	48億円/4.0%		91億円/7.0%

05 成長戦略 事業セグメント別計画

シャシばね

精密ばね

ケーブル

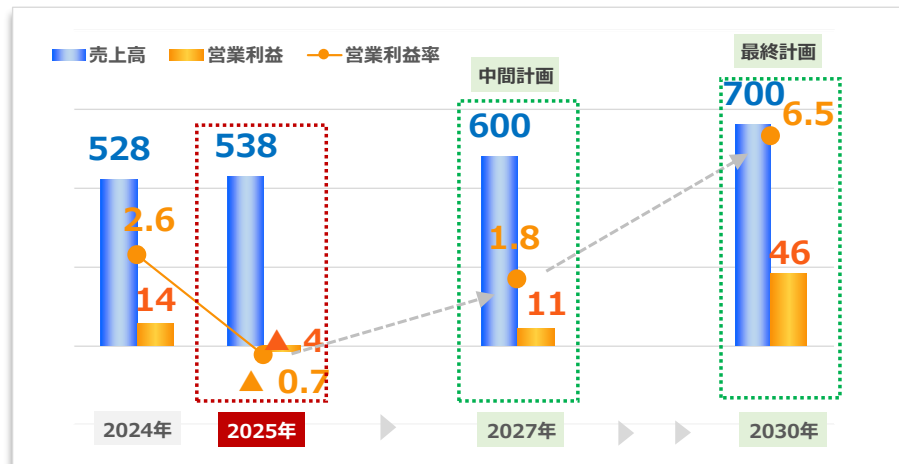
非自動車

事業方針と戦略

生産性の改善、原価低減を強力に推進し収益を大きく改善、高付加価値製品であるODDSの拡販等によりさらに収益拡大へ

シャシばね事業の売上高/営業利益/営業利益率の実績推移と計画

単位：億円、%



中間年 (2025~2027) までの取組み

原価低減/収益改善

- ✓ 安全対策、老朽更新投資を重点的に実施したため、固定費負担が増加
- ✓ いったんは利益を下押しするものの、設備更新による可動率改善がコスト低減や生産性改善に寄与し、早期に収益力向上につなげていく

営業利益 **11** 億円

最終年 (2028~2030) に向けた取組み

ODDS拡販/収益向上

- ✓ 藤岡新工場の稼働によりコイル事業の採算性を大幅改善、生産ラインの集約、コイル材二次加工内製拡大、グローバルでの調達改善による直材費低減により、さらなる収益の底上げを実施
- ✓ ODDSの拡販と高機能化による積極的な販路拡大、米国OEMへの販路開拓等北米マーケットのニーズの取り込みをはかる

営業利益 **46** 億円

CHUHATSU
CHUO SPRING CO.,LTD.

05 成長戦略 事業セグメント別計画

シャシばね

精密ばね

ケーブル

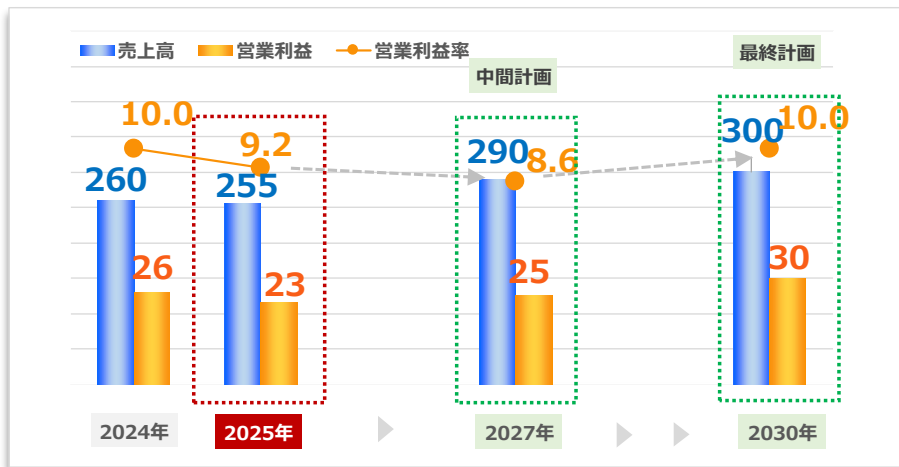
非自動車

事業方針と戦略

利益率の高い精密ばねは今後も計画通りに進捗、需要の旺盛なSUV市場に向け、PBDをグローバルで積極的に展開

精密ばね事業の売上高/営業利益/営業利益率の実績推移と計画

単位：億円、%



中間年 (2025~2027) までの取組み

収益維持向上

- ✓ グローバルで需要の旺盛な自動車SUV市場に向け、パワーバックドア用ばね (PBD) の受注は引き続き堅調に推移
- ✓ 材料の現地調達推進と内製二次加工材のグループ内活用による直材費低減をさらに強化

営業利益 **25** 億円

最終年 (2028~2030) に向けた取組み

グローバル拡販

- ✓ インドローカル企業との合併会社3SC※における欧州Tier1メーカーとの取引開始を契機としたさらなる販路拡大
- ✓ グローバルでの供給体制を整備し、業績の拡大をはかる

※SSS Chuhatsu Precision Springs Private Limited

営業利益 **30** 億円

05 成長戦略 事業セグメント別計画

シャシばね

精密ばね

ケーブル

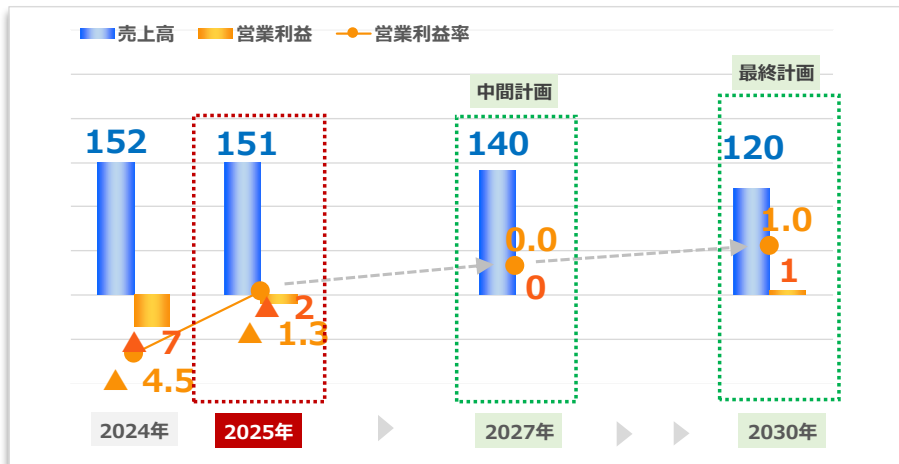
非自動車

事業方針と戦略

選択と集中によりケーブル事業の収益構造を大幅に改善、さらなる原価低減とインド市場への進出により赤字脱却、黒字化へ

ケーブル事業の売上高/営業利益/営業利益率の実績推移と計画

単位：億円、%



中間年 (2025~2027) までの取組み

更なる原価低減

- ✓ 選択と集中を実施し、グループ会社の閉鎖と他拠点への生産移管を効果的に取り組んだことにより、収益構造を大幅に改善
- ✓ グループ拠点間での共通部品最適調達を推進し、さらに効率的な生産体制を実現し赤字脱却へ

営業利益 0 億円

最終年 (2028~2030) に向けた取組み

黒字確保

- ✓ 技術支援契約を締結したインドローカル企業であるスプラジット社との協業をさらに進め、インド市場でのケーブル事業の規模拡大
- ✓ グローバルでマーケットに応じた生産体制の構築により、黒字化へ
- ✓ ケーブルのコア技術を活用した他事業への展開

営業利益 1 億円

05 成長戦略 事業セグメント別計画

シャシばね

精密ばね

ケーブル

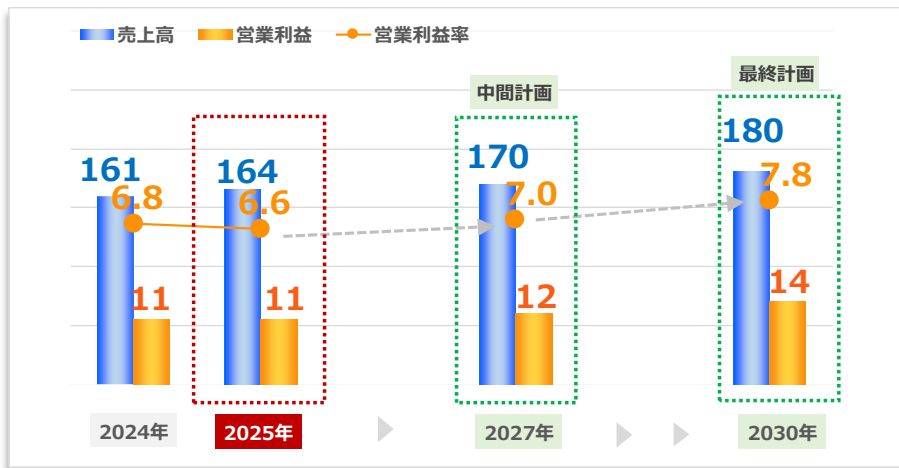
非自動車

事業方針と戦略

当社のコア技術を最大限に活用し製品ラインアップ拡充、さらに新分野への挑戦により新たな収益の柱となる新規事業創出へ

非自動車事業の売上高/営業利益/営業利益率の実績推移と計画

単位：億円、%



中間年 (2025~2027) までの取組み

新規開拓/販路拡大

- ✓ 「充電ケーブルリール」、「新幹線向け（逸脱防止ガード）」など非自動車分野の製品化は着実に進み、販売開始
- ✓ 引き続き販路拡大と事業規模拡大をはかる

営業利益 **12** 億円

最終年 (2028~2030) に向けた取組み

アイテム拡充/収益化

- ✓ 当社のコア技術を最大限に発揮し、ニーズに合った製品をさらに拡充
- ✓ 特にマーケットの拡大が期待される医療、航空宇宙分野に注力
- ✓ 戦略的アライアンスも含め、早期事業化により収益の柱へ

営業利益 **14** 億円

財務戦略

キャッシュアロケーション



B/Sマネジメント 金融資産134億円の売却を実施

財務 2025年度～2030年度キャッシュアロケーション



✓ 「中長期経営計画2030」では、6年総額1,000億円のキャッシュ創出により、投資と還元にも両輪で取り組む方針

2025年度単年実績 204億円（概算）

キャッシュイン		キャッシュアウト		
営業	利益	20	安全投資	42
CF	償却費	50	投資	40
金融	金融資産売却	134	藤岡12工場資金 成長投資	28
			還元	15
			配当	0
			自己株	79
			税、その他	
	計	204	計	204

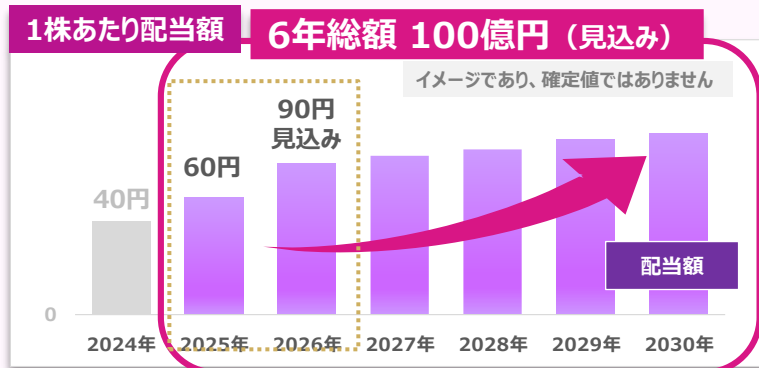
✓ 2025年度は金融資産を売却し、安全・経営基盤投資を重点的に実施

株主還元



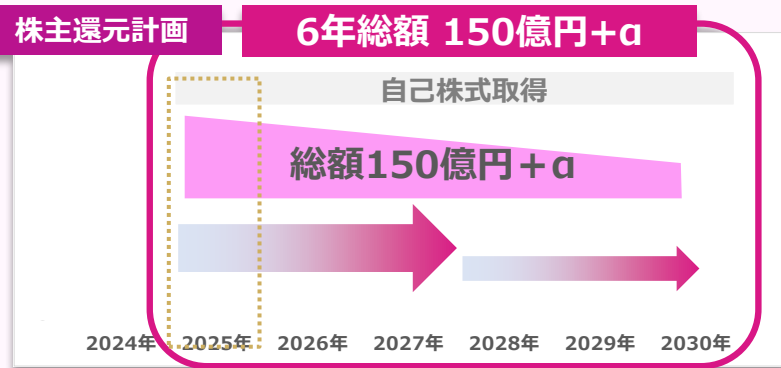
安全/成長投資と並行して、株主還元も計画どおり進行

財務 配当計画



- ✓ 2025年度は前期比1.5倍の60円へ増配を実施
- ✓ 2026年度も、目安であるDOE3%を超える90円配当を実施し株主還元を拡充する計画

財務 自己株取得計画



- ✓ 2025年度は安全・経営基盤投資を優先した結果、自己株取得は実施せず
- ✓ 6年総額150億円+α (前半3年に集中) の計画に変更無し

人的投資/サステナビリティ

人的投資/サステナビリティ



エンゲージメント向上につながる活動を強化

人的投資

エンゲージメント向上



- ✓ エンゲージメント向上施策として、役員と従業員の対話会を実施
- ✓ 会社を良くしたい夢を語り合う「You & Me トーク」を初開催

2026/3 リリース

健康経営優良法人認定



- ✓ 5年連続、健康経営優良法人2026（大規模法人部門）に認定
- ✓ 引き続き、従業員一人ひとりが心身ともに健康で、いきいきと働くことができる環境の整備を推進中

社員寮の新築

2025/6 リリース



東郷寮

2026年10月竣工

2026/3 リリース



藤岡寮

2027年11月竣工

- ✓ 従業員が安心・快適に働くことが出来る住環境を整備
- ✓ 東郷寮の新築、藤岡寮の建て替えが進行中

人的投資/サステナビリティ



SDGs活動を通して持続的な社会の実現へ

サステナビリティ

2026/5 リリース

カーボンニュートラル活動



三好西工場

- ✓ 三好西工場では、設備更新とガスの電化への移行により、ガスゼロ化を実現
- ✓ CO2フリー電気の導入により、CO2実質ゼロのカーボンニュートラルを達成

2025/11 リリース

学生のモノづくり支援



- ✓ 名古屋工業大学ソーラーカー部に対して、シャシばねと活動資金を支援
- ✓ 次世代技術と人材育成を通じて、将来のモノづくりを担う学生支援

2025/10 リリース

地域清掃活動への参加



- ✓ 地域の方々と海の美化を守る活動とコミュニティとの絆を深める取組みとして、田原市の海岸清掃活動に参加

中央発條は、全員が一丸となって
「中長期経営計画2030」で策定した
成長戦略と財務戦略を確実に実行するとともに、

お客様や社会からの**信頼獲得**に努め、
企業価値のさらなる向上に取り組んでまいります。

伝統と信頼を、次の100年へ

中央発條株式会社

101years — since 1925 —

END

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。

そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。従いまして、投資に関する決定はご自身のご判断においてなさるようお願いいたします。